

報道関係者各位

2022年9月26日  
山形県保険医協会

## 県内市町村子ども医療費助成 18歳年度末まで8割に 山形市など都市部の遅れ変わらず

山形県保険医協会は、県内市町村に対し、今年7月現在の子ども医療費助成制度について調査を行った。

今年4月から長井市、南陽市で、7月からは上山市で通院・入院とも18歳年度末まで無料となった。18歳年度末まで何らかの医療費助成を行っているのは28自治体となり、県内自治体の8割となった。舟形町では、これまで16～18歳は償還払いだったが、今年4月から現物給付に変更となった（【表1】参照）。

今年9月16日に厚生労働省が発表した令和3年度「乳幼児等に係る医療費の援助についての調査」では、市区町村では1,741市区町村すべてが医療費に対する援助を実施していた。対象年齢は「15歳年度末（中学生まで）」がもっとも多く、通院832市区町村（48%）、入院810市区町村（47%）。ついで「18歳年度末」が多く、通院817市区町村（47%）、入院892市区町村（51%）という結果だった。昨年度と比較して、「18歳年度末」まで援助を実施している市区町村が通院・入院ともに5%増加した。

山形県でも2016年にすべての県内市町村で15歳年度末まで医療費無料化が達成された後、毎年子ども医療費助成の拡充が進んでおり、今年はずいに8割になった（【表2】参照）。しかし、山形市など都市部では依然として進まない現状がある（【表3】参照）。

子どもは経済的な影響を受けず無料で医療を受けられるように、本来は国の制度とするべきだが、自治体でも助成制度を広げるよう、協会では今後も国、山形県、県内市町村に要請を行っていく。

### 【調査の目的と調査方法、回答率】

県内市町村の子ども医療費助成制度の実情を把握し、今後の施策の発信を目的に調査を行った。

調査対象は県内35市町村とし、郵送方式で2022年7月7日（木）～7月25日（月）を調査期間とした。

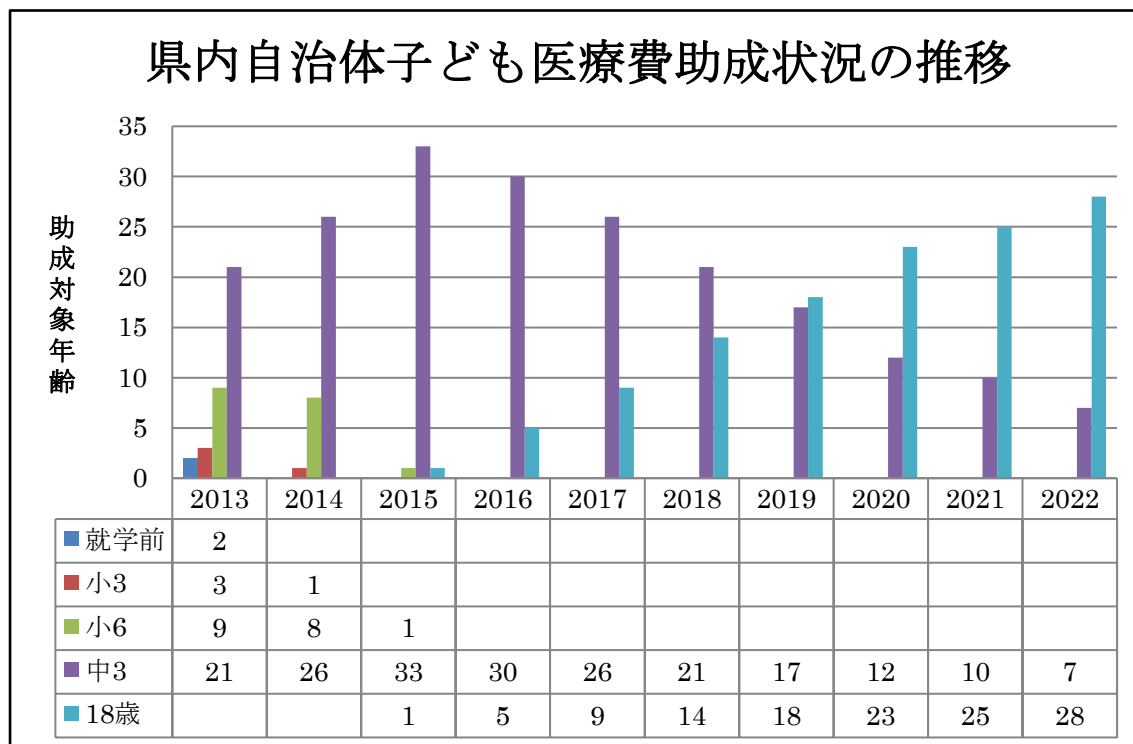
回答数は合計35件。回答率は100%。

【表1】県内市町村の子ども医療費助成事業（令和4年7月1日現在）

自治体名	対象者（特に記載がない場合は現物給付）		入院時食事療養費	備考
	通院・入院 （0歳～中3）	通院・入院 （高校生）		
山形市	○		対象外	
米沢市	○	○	対象外	
鶴岡市	○		対象外	
酒田市	○		対象外	
新庄市	○		対象外	
寒河江市	○	○	対象外	
上山市	○	○	対象外	令和4年7月～
村山市	○	○（入院のみ） （償還払い）	対象外	
長井市	○	○	対象外	令和4年4月～
天童市	○	○	対象外	
東根市	○	○	対象外	
尾花沢市	○	○	対象外	
南陽市	○	○	対象外	令和4年4月～
山辺町	○		対象外	
中山町	○	○	対象外	
河北町	○	○	対象（償還払い）	
西川町	○	○	対象外	
朝日町	○	○	対象外	
大江町	○	○	対象外	
大石田町	○	○	対象外	
金山町	○	○	対象外	
最上町	○	○	対象外	
舟形町	○	○（償還払い→ 現物給付）	対象外	令和4年4月～
真室川町	○	○	対象外	
大蔵村	○	○	対象外	
鮭川村	○	○	対象外	
戸沢村	○	○	対象外	
高畠町	○	○	対象外	
川西町	○	○	対象外	
小国町	○	○	対象外	
白鷹町	○	○	対象外	
飯豊町	○	○	対象（償還払い）	
三川町	○		対象外	
庄内町	○		対象（償還払い）	
遊佐町	○	○	対象外	
○計	35	28	対象：3	

注：全自治体で所得制限なし、自己負担なし  
山形県保険医協会調べ

【表2】県内市町村の子ども医療費助成状況の推移



山形県保険医協会調べ

**お問い合わせ先 山形県保険医協会**

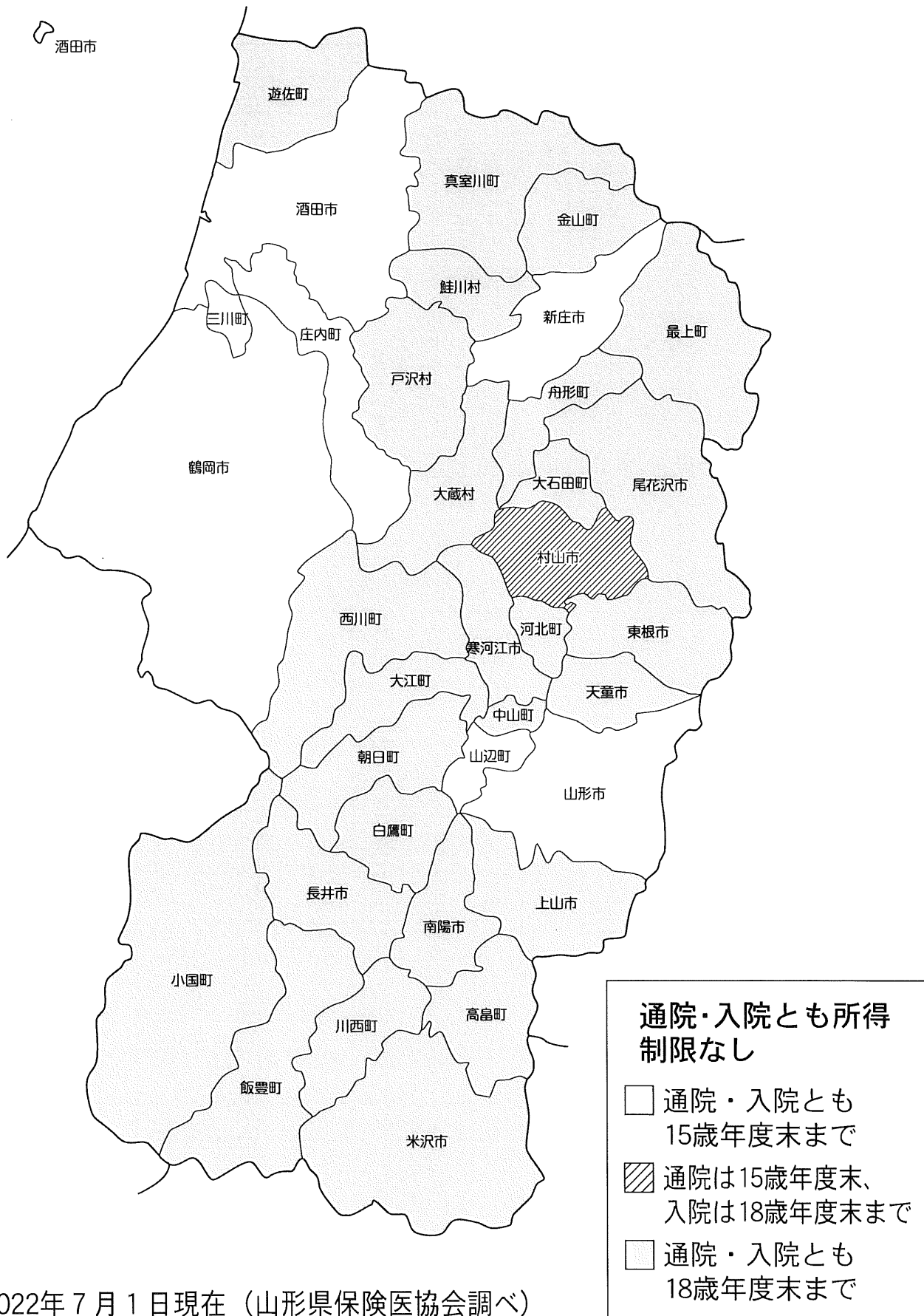
〒990-0043 山形市本町 2-1-2 フコク生命ビル 2F  
 TEL 023 (642) 2838 FAX 023 (642) 2839  
 (担当：井上 祐輝)

**山形県保険医協会のご紹介**

山形県保険医協会は、県内市町村で保険診療を担っている保険医（医師・歯科医師）の団体です。山形県内の保険医 861 名が加入し（2022 年 8 月現在）、県民医療向上のため活動しています。（理事長 中島幸裕／至誠堂総合病院 理事長）

【表 3】

# 2022年 山形県子ども医療費助成状況



2022年7月1日現在（山形県保険医協会調べ）